資料２

企画提案書等の作成要領

１　様式および提出部数等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 提出書類 | | 提出期限  (令和７年) | 規格 | 提出  部数 |
| 様式１（参加表明書） | | 2/13(木) | Ａ４ | ６部 |
| 様式２（法人概要書） | |
| 企画提案書 | 様式３（実施体制および業務従事者の状況等） | 2/20（木） |
| 様式４（過去３年間の動物愛護管理に係る実績） |
| 様式５（苦情相談対応・動物の保護または引取りおよび公示に関する提案） |
| 様式６（収容動物・譲渡候補動物・譲渡可能動物の飼育管理に関する提案） |
| 様式７（収容動物の返還に関する提案） |
| 様式８（収容動物の一時預かりに関する提案） |
| 様式９（譲渡可能動物の飼養者譲渡・ボランティア譲渡に関する提案） |
| 様式１０（収容動物の殺処分・廃棄物および収容動物の死体の処理に関する提案） |
| 様式１１（飼養管理室等および設備等の維持管理に関する提案） |
| 様式１２（適正飼育講習会の実施に関する提案） |
| 様式１３（犬猫譲渡会の開催に関する提案） |
| 様式１４（動物愛護、適正飼育、災害時におけるペットとの同行避難の啓発に関する提案） |
| 様式１５（動物愛護教室・動物とのふれあい・しつけ教室の開催に関する提案） |
| 様式１６（飼い主のいない猫（野良猫）に関する苦情相談対応に関する提案） |
| 様式１７（動物ボランティアの活動支援に関する提案） |
| 様式１８（その他の業務に関する提案） |
| 様式１９（提出書類の公開に関する申出書） |
| 参考（見積書について） |

２　書類作成時の留意事項

(1) 具体的な記載方法等を様式等（見積書は様式自由）に付記していますので、確認の上、書類を作成してください。

(2) １に示す全ての提出書類について、選考審査の対象となります。

(3) 企画提案書等の作成および提出に係る費用については、参加者の負担とします。

(4) 様式１（参加表明書）に添付する資料について、法人の登記事項証明書および法人の納税証明書は、提出部数のうち１部を原本とし、他は写しの添付でかまいません。

（様式１）

参加表明書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和７年　　月　　日

福井県健康福祉部健康医療局医薬食品・衛生課長　あて

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地　〒

　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　（事務担当者）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所　属

　　　　　　　　　　　　　　　　　　職氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｅmail

　福井県動物愛護管理業務の委託先募集に係る公募型プロポーザルに参加したいので、　関係書類を提出します。

【注意事項】

１　法人名および所在地の記載漏れがないか御確認ください。

２　代表者印を必ず押印してください。なお、支店長など代表権のない方の代表者印で提出する場合は、この参加表明書に関する委任状を添付してください。

【参加表明書に添付する資料】

１　法人の登記事項証明書（発行３ヶ月以内のもの）

２　法人の納税証明書（参加表明書を提出する日の前日までに納税期限の到来した国税および地方税について滞納がないことが分かる証明書で、発行３ヶ月以内のもの）

３　直近の決算書

　４　委託業務に従事する獣医師の免許証の写し

　５　委託業務に従事する特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を証する書面の写し

（様式２）

法人概要書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | | |  | |
| 代表者職氏名 | | |  | |
| 所在地 | | |  | |
| 設立年月日 | | |  | |
| 資本金または資本金に相当する財産 | | |  | |
| 年間売上 | | |  | |
| 従業員数 | | |  | |
| 支店等 | | 支店等名 |  | |
| 所在地 |  | |
| 参  加  資  格  要  件 | 地方自治法施行令第１６７条の４に規定する者に該当 | | | する　・　しない |
| 動物の愛護及び管理に関する法律第１２条第１項第１号から第８号の規定に該当 | | | する　・　しない |
| 「物品購入等の契約に係る指名停止等措置要領」に基づく指名停止期間中に該当 | | | する　・　しない |
| 国税の滞納 | | | ある　・　ない |
| 地方税の滞納 | | | ある　・　ない |
| 経営方針  （経営哲学、経営戦略等について記載してください。） | | |  | |
| 事業内容  （全体の事業を記載してください。特に、動物愛護管理関連の事業については、詳しく記載してください。） | | |  | |

（注意事項）

　　「支店等」には、この業務を主に担当する支店等について記載してください。

（様式３）

実施体制および業務従事者の状況等

１　動物愛護管理委託業務に携わる人数

(1) 動物愛護センターに常駐し、動物愛護管理業務に従事する職員数

本所（福井市徳尾町）　　　名、嶺南支所（敦賀市開町）　　　名

(2) その他、動物愛護管理関連業務の協力者数

　　　　　名

２　動物愛護管理委託業務における組織図

３　業務従事者の状況

(1) 動物愛護管理業務に従事する職員のうち専門資格を有しているもの

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資格名 | 人数 | 資格を活用した業務 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※資格を証する書面の写しを添付すること。

(2) 当該法人には所属していないが、動物愛護管理関連業務の協力者のうち専門資格を有しているもの

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資格名 | 人数 | 主な協力業務 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※必要に応じ、資格を証する書面の写し等を添付すること。

４　勤務体制および人員配置の予定（バックアップ体制を含む）

　　　平日（業務日）の業務時間内：

　　　平日（業務日）の業務時間外：

　　　休日等：

５　その他（人材研修計画など）

（様式４）

過去３年間（令和４年度から令和６年度）の動物愛護管理に係る実績

令和４年度から令和６年度現在までに実施した動物愛護管理に関する業務を記入してください。

【令和４年度】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業務名 | 件数 | 業務の詳細と成果 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

【令和５年度】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業務名 | 件数 | 業務の詳細と成果 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

【令和６年度】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業務名 | 件数 | 業務の詳細と成果 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

（様式５）

苦情相談対応・動物の保護または引取りおよび公示に関する提案

　【保護または引取りおよび公示の対象となる動物】

　　　①係留されていない犬

　　　②所有者から引取りを求められた犬または猫

　　　③拾得者等から引取りを求められた所有者の判明しない犬または猫

　　　④負傷動物（野生動物および畜産動物を除く）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 苦情相談対応 | 現場確認、チラシ配布、看板設置、定期巡回等 |  |
| 係留されていない犬の保護 | 苦情等に基づく現場確認および係留されていない犬の保護 |  |
| 犬または猫の引取り日時 | 動物愛護センター業務日の８時３０分～１７時１５分 |  |
| 犬または猫の引取り場所 | 動物愛護センター（本所、嶺南支所）  拾得者等が来所困難な場合は福井県の健康福祉センターまたは市町所管の公共施設等 |  |
| 負傷動物の保護 | 通報等に基づく現場確認および負傷動物の保護 |  |
| 公示 | 公示情報を動物愛護センター掲示板に掲示  ホームページ上に掲載  健康福祉センター・市町等へ情報提供 |  |

（様式６）

収容動物・譲渡候補動物・譲渡可能動物の飼育管理に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 動物の飼育管理施設 | 動物愛護センター  （本所、嶺南支所） |  |
| 給餌、給水 | 頻度  原則、朝・夕の１日２回  餌（成犬、成猫）  市販のフード等  餌（子犬、子猫）  動物用ミルク  市販の離乳食等 |  |
| 運動 | 犬：１日１回（３０分程度）  猫：必要に応じて |  |
| 健康管理 | 収容時の健康状態確認（必要に応じて獣医師の診察）  １日２回の健康チェック  必要に応じてシャンプー等による洗浄、駆虫剤投与、  ワクチン接種、健康診断および適性評価等の実施 |  |
| その他 | 犬：狂犬病予防法に基づく適切な時期に狂犬病予防注射接種、注射済票および鑑札の装着 |  |

（様式７）

収容動物の返還に関する提案

　【返還の対象となる動物】

○所有者が判明した収容動物

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 所有者が判明した動物の返還 | 動物の逸走理由について聞き取り  犬の場合は、犬の登録・狂犬病予防注射接種の実施状況について聞き取り（必要に応じて市町に犬の登録・予防注射の状況を照会）  動物の飼育管理状況に不備がある場合は適正飼育・関係法令の遵守等について指導 |  |
| 収容動物の返還日時および場所 | 動物愛護センター業務日の８時３０分～１７時１５分  動物愛護センター（本所、嶺南支所） |  |

（様式８）

収容動物の一時預かりに関する提案

　【一時預かりの対象となる動物】

○譲渡要領およびボランティア要領に基づき一時預かりが可能な収容動物

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 預かりボランティアの登録 | ボランティア要領に基づく預かりボランティアの要件を満たすことの確認  適正飼育講習会の実施 |  |
| 収容動物の一時預かり | 収容動物の特性・状態等について対面説明  飼育期間を定めて動物の引渡し  当該動物の飼育に必要な食餌等の支給 |  |

（様式９）

譲渡可能動物の飼養者譲渡・ボランティア譲渡に関する提案

　【飼養者譲渡またはボランティア譲渡の対象となる動物】

○譲渡要領に基づく譲渡可能動物

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 飼養者譲渡 | 譲渡要領に基づく譲受希望者の要件を満たすことの確認  適正飼育講習会の実施  譲渡可能動物の特性・状態等について対面説明  動物譲渡書の交付  動物飼育状況調査票の配布と期限内提出に係る説明  不妊去勢手術実施誓約書・報告書の提出に係る説明 |  |
| 譲渡しボランティアの登録 | ボランティア要領に基づく譲渡しボランティアの要件を満たしていることの確認  適正飼育講習会の実施 |  |
| ボランティア譲渡 | 譲渡可能動物の特性・状態等について対面説明  動物譲渡書の交付  ボランティア譲渡連絡票の配布および定期的な報告に係る説明 |  |

（様式１０）

収容動物の殺処分・廃棄物および収容動物の死体の処理に関する提案

　【殺処分の対象となる動物】

　　　○家庭動物としての適性が認められず、獣医師により譲渡不適格と評価された収容動物

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 殺処分 | 獣医師による薬剤注射（塩酸メデトミジン、塩酸キシラジンおよび塩化スキサメトニウムの筋肉注射により意識消失後、塩化スキサメトニウムの筋肉注射）  動物の死亡確認 |  |
| 廃棄物の処理 | 福井市と敦賀市の廃棄物分別基準に合わせて廃棄物を処理  廃棄物容器は蓋により密閉、破損等の確認  内容物の漏出に注意、漏出した場合は速やかに洗浄・消毒  医療廃棄物は適切に処分 |  |
| 収容動物の死体の処理 | 死体の体液、糞便等が漏出しないように袋に入れる  漏出した場合は速やかに洗浄・消毒  死体は大型冷凍庫で一時保管の後、焼却施設に運搬 |  |

（様式１１）

飼養管理室等および設備等の維持管理に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| ケージ等の管理 | 収容動物を別の場所に移動  汚物の除去  洗浄、拭き上げ、消毒、乾燥  給餌・給水の準備 |  |
| 食器等の管理 | 汚物の除去  洗浄、拭き上げ、消毒、乾燥、格納 |  |
| 洗浄設備の管理 | 汚物の除去  洗浄、拭き上げ、消毒、乾燥 |  |
| 格納設備の管理 | 洗浄・消毒  整理整頓、物品の使用期限等の確認、不要物品の処分、医療機器類の厳重管理 |  |
| 冷蔵庫・冷凍庫の管理 | 定期的な霜取り  洗浄・消毒  整理整頓、物品の使用期限等の確認、不要物品の処分 |  |
| 薬剤類（殺処分用薬剤・ワクチン等）の管理 | 施錠可能な冷蔵庫で保管  殺処分用薬剤の使用量・残存量を薬品受払簿に記載 |  |
| 飼養管理室等の床面・動物巡回車・動物保護檻の管理 | 収容動物の毛・土埃・食餌等の除去  洗浄、拭き上げ、消毒、乾燥 |  |

（様式１２）

適正飼育講習会の実施に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 講習会の実施頻度 | 犬猫譲渡会の開催時  譲渡会以外の飼養者譲渡の実施時  ボランティア登録申請時 |  |
| 講習会の実施場所 | 動物愛護センター（本所、嶺南支所）  犬猫譲渡会の開催会場  動物愛護および適正飼育に関する啓発事業の開催会場 |  |
| 講習会の内容 | 犬および猫の生態・健康管理・終生飼養  犬猫に起因する迷惑の防止  動物愛護管理関係法令等の遵守  適正飼育のための必要事項  災害時におけるペットとの同行避難について |  |

（様式１３）

犬猫譲渡会の開催に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 譲渡会の開催頻度 | 動物愛護センターにおいて月１回以上  動物愛護センター以外の福井県内の施設等において月１回以上 |  |
| 譲渡会の開催場所 | 動物愛護センター（本所、嶺南支所）  福井県の健康福祉センター  福井県内の市町が所管する公共施設 |  |
| 譲渡会の内容 | 適正飼育講習会の実施  譲渡可能動物の対面説明  譲受希望者と譲渡可能動物とのマッチング |  |

（様式１４）

動物愛護、適正飼育、災害時におけるペットとの同行避難の啓発に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 動物愛護フェスティバルの運営管理・広報活動 | 例年９月頃に開催  会場：動物を連れて来場可・雨天対応可（屋内会場有り）  公益社団法人福井県獣医師会との共催 | ① 主な対象者および人数  ② 主に訴えたいテーマ・目的  ③ ②を表現するための具体的な催事内容  ④ 開催に要するスタッフの人数  ⑤ その他 |
| 動物愛護、犬猫の適正飼育、災害時におけるペットとの同行避難に係る啓発活動 | 苦情等に基づく飼い主等への指導  市町・関係団体等と協力して啓発チラシの配布・看板設置等 |  |

（様式１５）

動物愛護教室・動物とのふれあい・しつけ教室の開催に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 動物愛護教室の開催場所・頻度 | 県内のこども園や小学校等に出向く  月２回（年２４回）開催 |  |
| 動物愛護教室の内容 | 動物の日常の世話やしつけ、命の大切さ等について伝えることができるもの  動物愛護意識の浸透を深めることができるもの |  |
| 動物とのふれあう・飼育体験事業の開催場所・頻度 | 動物愛護センターにおいて毎月１回、日曜日に開催するほか、平日にも随時開催 |  |
| 動物とのふれあう・飼育体験事業の内容 | 対象：幼児、小学生等  センター収容動物とのふれあい体験  収容動物の飼育体験（給餌、清掃、散歩、爪切り等）  動物の命を守る責任について啓発できるもの |  |
| 犬のしつけ教室の開催場所・頻度 | 動物愛護センター等において毎月１回、日曜日に開催するほか、平日にも随時開催 |  |
| 犬のしつけ教室の内容 | 対象：犬の飼育者  正しい犬のしつけ方法を教え、不適正な飼育に起因した苦情件数の減少につなげられるもの |  |

（様式１６）

飼い主のいない猫（野良猫）や苦情相談対応に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 野良猫問題に係る啓発活動 | 飼い主のいない猫（野良猫）を減らすガイドラインの周知・啓発 |  |
| 野良猫問題に取り組む地域の活動への支援 | 市町・関係団体等と協力して、啓発用資材の作成・配布、講習会の開催、適正管理のためのルールづくり等 |  |

（様式１７）

動物ボランティアの活動支援に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| 動物ボランティアの募集 | ホームページ等への掲載、関係団体との協力等 |  |
| 動物ボランティアの登録・育成 | ボランティア要領に基づく動物ボランティアの要件を満たしていることの確認  ボランティア活動保険の加入、ボランティアの育成、活動支援  活動記録票提出に係る説明 |  |

（様式１８）

その他の業務に関する提案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 県の求める水準 | 提案内容・期待される効果等 |
| その他の業務 | 福井県動物愛護推進計画の目標達成のために必要な業務の遂行  業務の目的・内容・日時・場所・対象者・タイムスケジュール・シナリオ等を記載した企画書等の作成、当該企画書等に応じた業務の実施 |  |

（様式１９）

提出書類の公開に関する申出書

令和７年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 公開することにより支障が生じる書類  （書類の名称・箇所） | 支障が生じる理由・生じる支障の内容を  具体的に記載してください。 |
|  |  |

（参考）

見積書について

１　記載していただく内容

　　　動物愛護管理業務委託に関する費用の負担については、資料１－別表２「費用の負担区分」を参照し、受託者が負担する経費に関する見積もりをお願いします。

　　　なお、次の事項につきましては、できる限り積算根拠を明確に記載していただきますようお願いします。

　　　・飼養管理室等の清掃管理に係る経費（消費税含む）

　　　・収容動物の飼養管理に係る経費（消費税含む）

　　　・譲渡候補動物および譲渡可能動物の健康管理に係る経費（消費税含む）

　　　・収容動物の殺処分、廃棄物および死体の処理に係る経費（消費税含む）

　　　・動物愛護フェスティバルの運営管理に係る経費（消費税含む）

　　　・犬猫譲渡会、動物愛護教室、動物とのふれあい・飼養体験事業および犬のしつけ教室の開催に係る経費（消費税含む）

２　算定根拠の参考数値について

　　(1) 動物巡回車の走行距離（令和５年度）

　　　　１）本所１：年間約１０，０００ｋｍ

　　　　２）本所２：年間約１３，０００ｋｍ

　　　　３）嶺南支所：年間約１３，０００ｋｍ

(2) 収容動物の頭数（令和５年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （動物愛護Ｃ） | 本所 | 嶺南支所 | 合計 |
| 係留されていない犬 | ２１ | １ | ２２ |
| 引取りされた犬 | ２１ | ３ | ２４ |
| 引取りされた猫 | ３７７ | ２８ | ４０５ |
| 傷病動物 | ２１ | １３ | ３４ |

(3) 処分頭数（令和５年度）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| （動物愛護Ｃ） | | 本所 | 嶺南支所 | 合計 |
| 返還 | 犬 | ２９ | １ | ３０ |
| 猫 | １０ | ０ | １０ |
| 譲渡 | 犬 | １７ | ５ | ２２ |
| 猫 | ３７３ | ２７ | ４００ |
| 死亡（うち殺処分） | | ３４（０） | ４（０） | ３８（０） |

(4) 苦情相談件数（令和５年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （動物愛護Ｃ） | 本所 | 嶺南支所 | 合計 |
| 苦情 | ３３９ | １３０ | ４６９ |
| 相談 | ２，１６５ | ３６７ | ２,５３２ |

(5) 動物愛護フェスティバル実施状況（令和５年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施月日 | 集客数(概数) | 開催場所 | 概要 |
| 9月24日 | 3,500 | 福井県畜産試験場 | 畜産試験場イベントと同時開催 |